|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **議事録** | | | | | |
| 件　名 | 要件定義 成果物 外部レビュー | | | | |
| 開催日時 | 2024/09/09 | 場　所 |  | | |
| 出　席　者  (敬称省略) | 【講師】  瓜生 壮一郎  【受講者】  岡本 毅斗 | | | 確　認 | 記　録 |
|  |  |
| 【議　題】  要件定義　成果物　外部レビュー  **【議 事 内 容】**   1. プロジェクト計画書 レビュー   　　　　提供物のプロジェクト計画書から変更点の確認   1. WBS レビュー   　　　　提供物のWBSに記入した内容を確認   1. 要件に関する確認   　　　　要件に関する疑問点等の確認  **【指摘事項】**   1. プロジェクト計画書   　　　　問題なし   1. WBS   　　　　修正込みで考える場合、手戻りの可能性があるためプロジェクト全体の工期を短くし  　　　　余裕を持たせる。  　　　　手戻りが発生した場合は、余裕を持たせた部分から捻出する。  **【確認事項】**  ・要件定義書の商品検索画面について、項番4：「キーワード検索ができること」とあるが、  "キーワード"というのは商品名のキーワードという認識で相違ないか   1. 商品名の一部でキーワード検索をする   ・要件定義書の商品検索画面について、項番4,5：「キーワード検索ができること」,  「商品カテゴリを指定して検索ができること」とあるが指定は必須ではないという認識で相違ないか   1. 指定は必須にしなくて良い   ・要件定義書の商品検索結果画面について、項番13：「検索したキーワードを表示すること」とあるが、  キーワードを入力せずに検索した場合は、何も表示しないという認識で相違ないか   1. 入力されていない場合は表示しなくて良い   ・要件定義書の商品検索結果画面について、在庫が無い商品は結果に表示させないという認識で相違ないか   1. 在庫が無い商品は結果に表示させなくて良い   ・要件定義書の商品詳細表示画面について、項番21：「数量を指定してショッピングカートに商品を入れることが出来ること」とあるが、数量の指定にはプルダウンメニューを使用する認識で相違ないか  また、数量指定は５個までにするが、問題ないか   1. プルダウンメニューを使用する、数量指定は在庫数まで指定可能とする | | | | | |
| ・要件定義書の商品詳細表示画面について、項番21：「数量を指定してショッピングカートに商品を入れることが出来ること」とあるが、ショッピングカートに商品を入れた後の画面はどうするのか  商品詳細表示画面のままメッセージだけ表示するのか、ショッピングカート一覧画面に遷移させるのか   1. カート一覧画面へ遷移させる   ・要件定義書のショッピングカート一覧画面について項番30：「カートからの削除ができること」とあるが、  カートからの削除のアクションは、商品の右側にあるキャンセルのボタン、またはハイパーリンクを押下し  実行させるという認識で相違ないか   1. 「削除」というハイパーリンクを使用する   ・要件定義書のカートからの削除確認画面について、項番35：「会員ログインしていない場合、  不正アクセスエラーとすること」とあるが、不正アクセスエラーは会員ログイン画面に遷移し、  エラーメッセージを表示する認識で相違無いか  A. 会員ログイン画面に遷移させ、エラーメッセージを表示  ・要件定義書の購入確認画面についてカート一覧画面からの遷移で表示する認識で相違ないか  A.　カート一覧画面からの遷移とする  ・要件定義書の購入確認画面について、項番61：「商品の在庫を減らし、注文を確定させる処理を同時に行う」  とあるが、在庫数が足りないときは購入確認画面にエラーメッセージを表示する認識で相違ないか  A.　購入確認画面にエラーメッセージを表示する  ・要件定義書の購入完了画面について、購入完了後は商品検索画面へ遷移する認識で相違ないか  A.　商品検索画面へ遷移させる  ・要件定義書の会員ログイン画面について、項番72：「ログイン成功時はメイン画面へ遷移すること」とあるが、ログイン失敗時は会員ログイン画面にメッセージを表示する認識で相違ないか  A.　会員ログイン画面にてエラーメッセージを表示する  ・要件定義書の会員登録情報入力画面について項番77,78：「会員情報を入力して登録すると会員登録情報確認  ができること」,「入力する情報は以下の通り」とありその中に、項番80：「パスワード」とあるが、  パスワードはハッシュ化をする認識で相違ないか  A.　ハッシュ化を行う  ・要件定義書の会員登録情報入力画面について、項番77,78：「会員情報を入力して登録すると会員登録情報確認ができること」,「入力する情報は以下の通り」とありその中に、項番79,80,83：「会員ID(メールアドレス)」,「パスワード」,「ご住所」とあるが、正規表現を用いた入力値チェックは行う認識で相違ないか  A.　正規表現を用いて入力値チェックを行う | | | | | |
| ・要件定義書の会員登録情報確認画面について項番85：「会員登録情報入力画面で入力した情報が確認  できること」とあるが、パスワードはアスタリスクなど伏字を用いて表現する認識で相違無いか  A.　伏字としてアスタリスクを使用し、入力したパスワードの文字数分表示させる  ・要件定義書の会員登録完了画面について項番92：「商品検索画面へ戻れること」とあるが、  ログイン状態は未ログイン状態を維持する認識で識相違ないか  A.　可能であればログイン状態で商品検索画面へ遷移させる  ・RFPにはカート内の商品の「修正」,「削除」が出来るとあるが、要件定義書には「削除」についての  定義しかない、カート内の商品は修正が行われるという認識で相違ないか  A.　カート内の商品は「修正」もできるようにすること  ・JSPのファイル名について、画面一覧に記載されている画面IDを基にファイル名を付けるが問題ないか  A.　コーディング規約に準じていれば、問題なし  ・RFPのシステム要件について、JavaScriptやXMLについては使用しても問題ないか  A.　一度持ち帰り、確認をとる  -以上- | | | | | |